

チーム豊成の力を高め、「潤いと勢い」のある学校づくり

Connect

帯広市立豊成小学校 キャリアプロジェクト通信



令和7年10月22日
NO.10 文責 菊谷

キャリアプランニング能力の育成を目指します。
ステキな大人の姿から、
自分の未来について考えます。



満寿屋パン・杉山さんのお話から

夢を叶えるために・・絵に描いてみよう

9月24日(火)、今年度も満寿屋パンの杉山社長と、麦音のパン職人で、本校を平成17年に卒業した卒業生が、いつもの石窯付の軽トラックに乗ってきてくださいました。

今年は、暑さと害虫により中村農園での玉ねぎが不作でしたが、ピザのトッピングには十分で、教材園でとれたピーマン、バジル、なす、じゃがいもと一緒にトッピングすることができました。トマトはスクサポさんが煮込んでピザソースにしてくださり、十勝産チーズとコーンをたっぷりとのせた「十勝ピザ」を思い思いに完成させました。「地産地消」の素晴らしさを体感した子どもたち。ピザが焼きあがったときには、歓声が上がりました。



午後からは、体育館で杉山さんと卒業生の方のお話を聞きしました。最初に、杉山さんから「十勝は、日本一食べ物に恵まれた素晴らしいところ」だということや「その土地でとれた食べものをその土地で食べる地産地消のよさ」の話を聞きました。あらためて農業王国十勝に住む私たちは幸せです。

現在の日本の食料自給率は38%。足りない分は62%は外国から運んでいること。世界の飢餓で苦しんでいる7億の人々がいる中で、日本では「食べ物があって当たり前」であって、1日におにぎり1億2千万個の食品ロスがある。そんな杉山さんのお話に真剣に耳を傾けます。

卒業生の方からは、「パン職人になるために」ということで、パティシエの学校に通い、夢に向かって頑張ってきたこと、地元の麦音のパン職人として情熱をもって仕事をしていること、その思いをお話していただきました。

杉山さんの夢は、「2030年十勝がパン王国になること」です。夢を実現するために夢を絵に描いたり、何度も夢のことを考えたりすることが大切だと教わりました。そしてたくさんの夢をもつことは素敵なことなので、あきらめないで自分を信じ、今に集中しよう。杉山さんの夢は、今年少しづつ動き始め、来年には麦音に馬牧場をオープンする予定だそうです！